方 針

5 魅力ある道路環境づくり

県民へ還元

歩行者中心の道路空間や、環境を保全した
景観形成により、魅力的な道路環境が形成されます。

成 果 指 標	基準値(R2)	目標値(R7)
「ウォーカブルなまちづくり」により、歩行者空間が快適になったと感じる人の割合	ー	50%以上

施策5-1 道路空間の有効活用

◆市街地開発事業等と連携し快適な道路空間を備えた、魅力的な都市内幹線道路の整備
◆まちなかの道路緑化、バリアフリーネットワークの形成、賑わい空間の創出等による、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成 など

図 長崎駅周辺歩行者専用道路整備イメージ
出典：長崎市HP

図 ウォーカブルなまちづくりイメージ

指 標	基準値(R2)	目標値(R7)
ウォーカブルなまちづくりに継続的に取り組んでいる市町数	0市町	4市町

施策5-2 環境の保全・景観の形成

◆市街地内の幹線道路における無電柱化や道路緑化の推進
◆景観計画策定等の支援
◆サイクルモデルルートにおける走行環境整備やサイクリストの受入れ環境整備 など

写真 サイクルツーリズム（大村湾南部地域）

写真 日本風景街道「ながさきサンセットロード」における一斉清掃イベント
出典：道守長崎通信 第103号

指 標	基準値(R2)	目標値(R7)
広域エリアにおける県および市町の連携による景観形成ガイドラインの策定	0件	2件
サイクリングモデルルートの整備の着手数	3地域	6地域